

ナシヒメシンクイ

バラ科樹木の果実や若枝に潜るイモムシ（幼虫）。最大長約12mm。体は紡錘形，背中が赤く，下側が白い。モモ，スモモ，リンゴ，ナシなどの害虫とされる。

【学名】 *Grapholita molesta*

【分類】 チョウ目（Lepidoptera），ハマキガ科（Tortricidae）

【分布】 北海道，本州，四国，九州；ほぼ全世界の温帯。

【形態】

幼虫は最大長約12mm。頭部は黄褐色。頭部のすぐ後の前胸背楯（ぜんきょうはいじゅん）と尾端背面の肛上板（こうじょうばん）は淡褐色。刺毛基板（しもうきばん，刺毛の付け根周辺）は淡褐色。肛門の下側に櫛歯状の刺毛（尾叉，びさ）を持つ。モモシンクイガの幼虫に似るが，色彩が若干異なる。果実のシンクイムシは他に6種ほどある（文献1976）。

【生態】

寒冷地では年2～3回発生。老熟幼虫で越冬する。幼虫は，春は新芽に潜り，糞を出しながら根元に向かい食い進む。果実がなると，そちらを食害する。

【被害と防除】

リンゴ，ナシ，モモ，スモモなどバラ科果樹の重要害虫で，果樹園では防除が行われている。庭の果樹にも発生する。被害果をみつけたら摘み取って処分し，害虫の発生量を減らす。果樹以外の樹木（ハマナス，ナナカマドなど）に被害果があれば，これも処分する。

【文献】

1976. 駒井古実. モモ，リンゴ，ナシの果実に食入するシンクイムシ類の見分け方. 植物防疫, 30: 245-252. (形態, 生態)

1986. 山口昭, 大竹昭郎, 編集. 果樹の病虫害, 診断と防除. 全国農村教育協会, 東京. (形態, 生態, 被害, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

モモヒメシンクイ himehama/momohime/
kaisetv.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/9/30.

1higai.jpg, 1yochu.jpg.

「写真1～2」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1995.